



2021年3月6日(土)に子育て講演会が行われました。今年度はコロナの影響で講演会が延期となり、本当に開催できるのか、と心配になりましたが無事に開催できた事、本当に嬉しく思います。コロナ対策のご協力ありがとうございました。

今回は、「大切な子どもの心とからだを守るために『性』と『生』の話～3歳から始める性教育～」というテーマで、講師に徳永桂子先生(性教育ファシリテーター・思春期保健相談士)に来ていただきお話を聞きました。

はじめに、「子どもは自分の体に興味を持ち、知識を素直に受け入れることで自尊心が湧き色々な虐待などにあいにくくなる。子どもの自尊心を作っていくために私は学んで伝えている。性教育は体と心の自尊心を学ぶ大事な事。学校でできないこともあるので家でもやってほしい、でも難しい…」と先生はおっしゃっていました。今はネットで情報が多く不適切な動画があふれている。子どもの性について、わからないことは科学的な知識を親(大人)が学んで前向きに明るく伝えていく事が大事、とのこと。特に幼児は難しく伝えても忘れてしまうので、紙芝居等にして繰り返し伝える。大人がきちんと伝えることで安心する、そして相談できる関係が作っていきけるとのことでした。

他にも幼児に伝える方法としてゲームをしながら伝えると楽しく学べることを教えてもらいました。今回は、みんなお医者さんになったつもりでね、とみんなでゲームを行いました。徳永先生が自分の体の名前を言って触る。会場みんなは幼児になり、徳永先生のマネをします。頭、目、鼻、口、胸、性器(股)などなど…体の部分の名前を医学用語で言って、触る。マネなので名称も言って触ります。その中で例えば体はみんなだけの大切なものだから、チュッチュって誰かがしてきて嫌だったり、したくなかったら言っていいんだよ。胸をパンチされたりつねられたりしたら「イヤ」「やめて」って言っていいんだよ。嫌な時は笑いながら言っても聞かないよ、顔もしっかり嫌な顔をして真剣に言う、それでも聞かなかつたら足を蹴ってもいいんだよ。そういう事がもしあったらお家の人や、先生、言いやすい大人の人に言ってね、という内容がありました。他にもデリケートな部分の名称を伝え大事な働きをしている事、自慰行為、性器の事などの話があり、伝えることがなかなか難しいと感じる内容もありました。体の名称は繰り返し言って覚える事も大切、とのこと。大事どころだから守る、そのために嫌なことはイヤとはっきり言う、ということに繋がるとのことでした。

他にも具体的な内容としては、家で親子の遊びとしてでもカンチョウをしていると子どもは友だちにもしてしまいます。異性の人(親、きょうだい)と一緒に風呂に入る事は思春期になったらやめたほうがいいです。(目安です)子どもが嫌と言っている時は子どもの嫌を尊重することが大切ですとのことでした。

最後に、「性交」とは生き生きと心が交わる事。子どもの心を大切に、心と体を生き生きと育てる事がとても重要。大切な子どもを守るためにしっかり伝えて、大人同士も協力していきましょう、とお話があり終了となりました。

今回のテーマはとても大事な事だけど、子どもに伝えるのが難しい、伝え方がわからない、など悩む事が多いと思います。徳永先生のお話を聞きしっかり伝えていく事の大切さ、そのことで子どもが自分のことを大切に、自分を守ろう、と思えるようになることを知り、きちんとした情報をわかりやすく伝えることが大人の役目なんだな、と改めて感じました。今回のお話を参考に子どもたちに少しずつでも伝えていけたらと思います。参加してくださった方も多く、今年度の最後にとっても学びある講演会となりました。今回のテーマはのぞみの会役員さん、OBの保護者の方が企画を考え、講師の先生を紹介して下さいました。ありがとうございました。



だい ごう
ステーションニュース 第47号

ねん がつはっこう きぼう いえか とりっくほいくえん
2021年 3月発行 希望の家カトリック保育園



京都市においては、身近な地域における相談・ネットワークの拠点として、保育所や児童館が「地域子育て支援ステーション」に指定されています。子育て相談や子育て講座、育児に関する情報提供など、子育て中の家庭に気軽に利用していただける取組を行っています。今回は、性教育ファシリテーター、思春期保健相談士の徳永桂子先生をお招きして「性」と「生」についての講演をしていただきました。保護者の方の関心も高く、有意義な時間をもつことができました。

ほいくほうしん とも い よるこ たぶんかきょうせいほいく
* 保育方針 「共に生きる 喜び—多文化 共生保育」

ほいくじかん あさ じ ぶん よる じ ぶん
* 保育時間 朝7時20分～夜7時20分

ほいくねんれい さいじ さんきゆうあ さいじ しゅうがくまえ
* 保育年令 0才児(産休明け)～5才児(就学前)



〒601-8006

きょうとしみなみくひがしくじょうひがしいわもとまち
京都市南区東九条東岩本町28

TEL 075-681-6881 FAX 075-691-9581

<https://www.kyoto-kibounoie.jp/>